



発行日 平成28年8月19日
発行所 特定非営利活動法人
フードコミュニティ目黒
理事長 渥美 昭美
〒152-0001
東京都目黒区中央町2-32-5
スマイルプラザ中央町
TEL: 03-5768-0707
FAX: 03-5768-0717
E-mail: okowa@fc-meguro.com
http://www.fc-meguro.jp/

人生を豊かにする就労

目黒区健康福祉部長 堀切 百合子

フードコミュニティ目黒の皆様には、障害をもつ方の就労支援に日々ご尽力いただき、誠にありがとうございます。

「働く」ことは、障害の有無にかかわらずその人の人生を豊かにするものと考えています。収入を得るとともに、人の役に立てる喜びや、仲間と力を合わせ目標を成し遂げる達成感があるからです。

FC目黒では、一般企業での就労や就労継続B型の工賃アップなどに大きな成果を上げられ、利用者の皆さんが、目標に向かって、自分らしさを発揮して生き生きと取り組んでいらっしゃいます。可能性を広げ豊かな人生を送ってほしいと願っております。

障害をもつ方の就労は法整備がなされ着実に進展していますが、いまだ厳しい現実があります。就職前の準備から職場定着までの継続的な支援に取り組まれている皆さん方のご努力と熱意に心から敬意を表します。

区といたしましても、障害をもつ方が社会の一員として就労の機会を得て、その人に合った働き方ができるよう関係機関との連携を強め、企業への啓発を行ってまいります。FC目黒をはじめ就労支援事業に携わるみなさんと力を合わせ取り組んでいきたいと考えておりますので、どうかよろしく願いいたします。

今年の4月には障害者差別解消法が施工されました。7月26日に起きた大変痛ましい事件に接し、「すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を目指す」とする法の趣旨をあらためてかみしめています。

目黒区においても、「ともに暮らすまちづくり」の実現に一層努めてまいりますので、これからもご協力をお願いいたします。

現在の状況

フードコミュニティ目黒理事長 渥美 昭美

フードコミュニティ目黒(FC目黒)は現在「東京都福祉サービス第三者評価」を受審中です。「FC目黒の事業所の特徴は」、「サービスの質はどのような状態か」等が判ります。第三者評価が終了すれば評価が出てきますので、この広報誌にて皆さまに報告致します。

昨年度の《就労継続支援B型事業》の工賃は平均で34000円でした。利用者の方々は今年度もさらに頑張っています。そして《就労移行支援事業》では昨年度は3名の利用者を一般企業就労させました。現在支援員が定着支援をしています。就労先で安定をして長く働き続けられる様な環境づくりを企業に伝えていく事も大切な役割かと思っております。今一番苦勞している所です。現在利用者の皆さんは、一般企業訪問や一般企業面接等を受け利用者同士切磋琢磨して企業就労に向けて頑張っている訓練をしています。

FC目黒は今年度休日サービスにも力を入れて年間14回の休日サービスの計画を立てました。これは利用者の皆さんからのリクエストで行きたい所に行く事に成っています。普段作業中心の利用者の皆さんと一緒に楽しみたいと思っています。

今後とも、FC目黒にご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

今年度を迎えて

フードコミュニティ目黒施設長 吉塚 晋

今年度が始まって早5か月が経ちましたが、FC目黒では新しい試みや今までの活動をさらに充実させる取り組みをおこなっているところです。

★地域に出ていく！

5月3日に「東京2020オリンピック・パラリンピック」の大会気運醸成を目的として『目黒区自由が丘植樹リレー』が開催されました。FC目黒からも2名の利用者が参加しました。駒沢オリンピック公園近くのやくも街かど公園から自由が丘駅前の自由の女神広場付近まで約2km間を走りました。最後は走り終わったランナーや有識者が壇上に上がり、スピーチなどをおこないました。11月には『目黒シティラン』にも参加していく予定で、今から練習しています。マラソンだけでなく、これからも地域の中に積極的に出ていければと思います。



目黒区自由が丘植樹リレーに参加

★余暇活動の充実



スタジオパークにてアナウンサー体験

休日サービス提供では、毎年様々な活動を企画していますが、昨年度は9回で今年度は14回へ活動を増やしました。利用者から「やりたいこと」、「行ってみたい所」を聞き、活動に取り入れています。今年度は、ピザ作りや羽田空港見学、プラネタリウム、カラオケ大会などを新たに活動に加え、就労した方も参加できるようにしました。仲間と一緒に日頃できないことを楽しめる余暇活動を充実していきたいと考えています。

★工賃アップを目指して

平成28年度から目黒区本庁舎西口ロビーでの自主製品販売が、月曜日と木曜日の週二日間となりました。今までのお萩販売だけでなく、今年度はお弁当の販売もおこなっています。4月から8月現在まで少しずつお弁当の販売数が増えてきて、お昼前にはお客様がずらりと並んで買って下さることもあります。お弁当の販売数が増えることは工賃アップにつながっていきます。工賃アップを目指しお弁当の販売拡大に向け、さらに努力していきたいと思います。

★定着支援に向けて

平成27年度の就労移行支援事業では3名の就職者を出しました。就労後、環境が変わることで様々な壁にぶつかり、なかなか職場になじめないこともあります。仕事が終わるとFC目黒に寄って職場であったことや悩み、必要があれば生活面などの相談もおこない、しっかりと職場に定着できるよう、支援員がそれぞれの方にあつた支援を、きめ細かくおこなっています。

これらの活動の充実に向けて、FC目黒全員が全力で取り組んでいきます。皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

利用者へのインタビュー

★就労移行の利用者Aさんに聞きました

- FC目黒はどんなところですか？ —
就職するために訓練を頑張るところです。
友達もできたし仕事も楽しいし、毎日楽しい。たまに注意はされるけど。
- 得意な仕事は何ですか？ —
配達の仕事は好きだけど、御門屋(和菓子メーカー)の袋折りがきれいにできると気持ちがあすっきりして気持ちが良い。
- では、他に良いことはありますか？ —
毎日ごはんがおいしい。
お昼ご飯のとき、移行の人だけでなく、B型の人や支援員皆でおしゃべりしながら食事をするのが本当に楽しい。
- 就労移行の活動は何をしていますか？ —
コツコツ企業実習や面談会に行ったり、そのための面接練習もしています。
- どんな企業に行きましたか？ —
建設会社や鉄道会社。渋谷のTSUTAYAにも行って、自分と同じ障害のある人達が働いている様子を見ました。
- 最後に今後の意気込みを教えてください —
FCは楽しいけど早く就労を決めたいです。

★就労継続B型の利用者BさんとCさんに聞きました

- 一番やりがいがある仕事は何ですか？ —
作業室での御門屋の袋の三つ折りです。
- どういった所がやりがいがありますか？ —
身体が乗ってくると手が勝手に動くようになるところ。
スピードやテンポが気持ちよいぐらいスムーズにいく。
- 手が勝手に動くとはおもしろいですね —
そうなんですよ(笑)三つ折りをそんなにできない週は自分の手が「三つ折りそろそろやりたいよ～」と話しかけてくるような気分になってくるんです。



御門屋の袋の三つ折り

- 一番頑張っている仕事は何ですか？ —
下目の残菜チェックを頑張っています。
- 下目黒福祉工房への配食サービスの返却された容器の片づけですね —
毎日、残っている量を表にチェックするのがやりがいがある。
- 量も多いし大変そうですね —
大変だけど毎日のことだし、自分がしなければという気持ちになる。
皆が沢山食べて残菜が少ない時はとても嬉しい。

普段はもくもくと業務に取り組んでいる利用者の皆さんが、いつもどんなことを考えながら日々の仕事をしているのか、利用者の生の声を聞きました。

支援員より

★あいさつを大切に

FCに入って1年以上経ちましたが、皆さんが毎朝変わらず笑顔であいさつをしてくれるので、1日を気持ちよくスタートすることができています。明るいあいさつ、楽しく会話を交わすといったことが毎日常来、自分の日常が以前よりも心地良いものになりました。

現在は主に就労移行の方たちと活動しており、企業との面談会と一緒に参加する機会がたくさんあります。そういった場でもやはり、質問への受け答えと同様にあいさつや相手の話を聞く姿勢といった事柄が大切であり、日々の取り組みの積み重ねがいかに重要かを実感しています。朝礼・終礼時のあいさつ、作業の前後のあいさつ、弁当の配達時のあいさつ、一つ一つの場面を大切にしながらあいさつが習慣になっていくよう一緒に取り組んでいきたいと思えます。
(支援員 野村佳代)

★ともに成長して行きたい！

FC目黒の支援員として勤務して2年半が経ちます。学生の頃には公的な仕事で社会に貢献する事が目標でしたので、現在、知的障害を持った方の自立支援の仕事が出来るのは大変光栄です。

私は区役所でのお弁当配達を利用者と一緒に行っています。お弁当を渡す時は緊張しごちない様子で挨拶をしていた利用者さんに「相手の顔を見て、落ち着いて挨拶をしてみよう」と声掛けします。おつりの計算が難しい利用者には、配達の後で電卓の使い方を一緒におさらいします。段々と配達場所も覚え、挨拶や計算もしっかり出来るようになってきます。



支援員と一緒に代金の計算

充実した表情で「できました」と報告があった時は、本当に嬉しくなるとともに、自分も一緒に成長して行きたいと思う瞬間です。
(支援員 西山京)



* イベント・サークル・会議等のお集まりに、ご予算に応じてお作り致しますので、お気軽にご相談くださいませ。

■ ご注文・お問い合わせ
電話03-5768-0707
(9:00~17:00/土日祝休み)

安心・安全の厳選素材が自慢です！

宮城県産の環境保全米(減農薬)「ひとめぼれ」100%を使用。主菜は、肉または魚をメインに、和洋折衷バラエティ豊か。すべて手作りにしております。



白米弁当/575円
赤飯弁当&山菜おこわ弁当/各620円
(宮城県産こがね餅米100%使用)



赤飯
グラムにより300~400円



山菜おこわ



お糰 (5個入り)
400円

価格はすべて内税となっております。